

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第1回ふじみ野市総合教育会議			
開催日時	令和8年3月27日（金） 開会時刻 午後5時00分 閉会時刻 午後6時00分			
開催場所	ふじみ野市役所第2庁舎B301会議室			
出席した者の氏名	役職名	氏名	役職名	氏名
	市長	高畑 博	委員	吉野 榮
	教育長	朝倉 孝	委員	西山 幸吉
	教育長職務代理者	茂井 万里絵	委員	星野 弘明
説明員等	総合政策部、教育部			
会議の議題	(1) GIGAスクール構想の今後の取組について （資料） (2) その他			
会議の公開又は非公開の別	公開			
会議の非公開の理由	-			
傍聴人の数	1人			
会議の内容	別紙のとおり			
会議資料	(1) 次第 (2) GIGA スクール構想の今後の取組について			
事務局	金子総合政策部長、経営戦略室（水上室長、戸部統括主査、岡田統括主査、田畑主任）			
議事の確定	確定年月日	令和8年4月10日		
	記名押印 又は署名	役職名 市長 高畑 博 ㊟		

別紙

発言の要旨

発言者	発言の要旨
	<p>－開会－ 事務局より、議題及び配付資料について説明。 傍聴人について「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の4第6項の規定」により、原則公開となることを説明。</p>
市長	<p>－あいさつ－</p>
事務局	<p>総合教育会議につきましては、市長が主宰することとなっております。これからの進行につきましては、市長に行っていただきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p>
市長	<p>それでは、次第に沿って進行してまいります。議題「(1) G I G Aスクール構想の今後の取組について」、教育委員会より説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>－資料に基づき説明－</p>
市長	<p>それでは、ただいま説明のありました、G I G Aスクール構想の今後の取組について、皆様からご意見、あるいはご質問等をいただければと思います。</p> <p>冒頭、私からですが、G I G Aスクール構想では子どもたちが早い段階でデジタル環境に慣れるように、1人1台のタブレット端末を配布してきましたが、端末の更新時期が来ると国の財政支援が縮小し、市の負担が増えてしまっている状況です。加えて、学校のW i - F i環境を良くする必要もあり、これまた市の負担が増しているという実態がございます。このことは、お金をかけても子どもたちには早い時期から慣れてもらいたい、文房具と同じように使いこなせるようにと、そんな思いであります。それと並行して、従来のアナログ的な中の温かさだとか、そういうものも並行して進めていくことが必要だとも思っております。</p>
茂井教育長職務代理者	<p>タブレット端末も機械ですので故障することはありますし、新一年生への新規購入や学内のW i - F i環境整備など、さまざまな場面で費用がかかることが想定されますが、市として大きな予算立て</p>

<p>経営戦略 室長</p>	<p>を検討していただけているのでしょうか。</p> <p>国からの補助金につきましては、思ったよりもついていないというのが現状でございます。ただ、教育的な予算ですので、良い環境の中で子どもたちが公平に教育を受けられるように対応していきたいと考えております。校舎のW i - F i 環境についても調査を実施し、今年度から工事を進めさせていただいております。</p>
<p>西山委員</p>	<p>授業でのタブレットの活用状況として、国語・社会・理科の順が多いようですが、他の教科に関しては活用が進まない理由があるのでしょうか。</p>
<p>G I G A スクール 推進主幹</p>	<p>国語や社会が多いのは、小学校での授業時間数が多いということも関連していると思います。また、国語や社会の授業は、子どもたち同士が資料を基に話し合いながら考える場面も多く、スクールタクト（ソフトウェア）の利用に特に適しております。算数や数学の場合、そういう場面が少なく、活用の順位としては低くなってしまっておりますが、算数や他の教科でも活用が増えるよう、先生方と進めていきたいと考えております。</p>
<p>吉野委員</p>	<p>一昨年、他市の授業を見学させていただきました。小学1年生の国語の授業では、文章を読んで感想をまとめる内容でしたが、子ども達が試行錯誤して感想を考えているというよりも、タブレットの入力作業に時間が取られてしまい、国語の授業として本当に成立しているのだろうかという疑問に思いました。また、5年生の理科の実験授業では、実験結果をデータ化することに目が向きすぎていて、肝心の実験の手順が間違っていました。タブレットに実験の手順が載っていたため効率は良さそうでしたが、本来は教員がしっかり指導すべき部分なのではないかと感じました。</p> <p>一方で、昨年、本市の小学校の英語の授業を見学した際には、教員がタブレットを非常に上手に活用されていました。このように、教員によってI C T活用のスキルに差があることを実感し、今後、タブレットを活用した指導方法について教員向けの研修を進めていく必要があると強く感じました。</p> <p>また、本市のC B T化された授業を見学させていただきまして、集計作業が効率化されている点は非常に良いと感じました。ただし、算数の作図や子どもたち一人ひとりの細かな評価などについては、C B T化だけでは難しい部分があるように思います。そのた</p>

	<p>め、こうした評価の仕方や指導方法についても、教員向けに研修や指導をしっかりと行っていく必要があると感じています。</p>
市長	<p>おっしゃるとおりです。効果的に活用できないと、デメリットが出てくる可能性もあるようですね。</p>
星野委員	<p>タブレット端末の活用については、今現在では学校間の格差や学年、学級、先生によって差があるのかと思います。これは先生が本当にできないのか、タブレットを活用したくないと信念を持ってやらない人がいるのかなど現状を教えてくださいませんか。</p>
教育長	<p>子ども達に力をつけてほしいという願いを込めて、皆様の税金を使ってタブレットを配布していますので「教員の差」では許されないことだと思います。教員一人ひとりがしっかりと技術を身につけ、全員が一定のレベルでタブレットを活用できる場面をつくりあげていくことが、これからの課題だと感じております。</p>
星野委員	<p>資料の4月に行う「すららドリル活用研修会」とは、あまりできていない先生を対象にしているのでしょうか。</p>
G I G A スクール 推進主幹	<p>各中学校にいる「すららドリル」を活用する教員を対象にした研修会を予定しております。</p>
星野委員	<p>子どもたちには個別最適な学びができるような環境、機会を提供しないといけないと思います。現在は個別担任制ですが、子どもたちが先生を選べるような機会を提供するなど、新たな試みなどは模索できるのでしょうか。</p>
教育長	<p>教育の本質的な部分に関わる事項で簡単には答えられないですが、人であるが故に合う合わないがあるのかもしれないです。</p>
市長	<p>小学校・中学校だと先生を選ぶというより、合わせていかなければいけない、そういうことを教えるための小学校・中学校なのかもしれないと思います。ただ、機械やA Iだけで本当に良いのか、最終的に判断するのはやはり人間なのではないかなと思います。最新の技術を効果的に活用していくには、使い分けが肝心かなと思います。</p>

<p>茂井教育 長職務代 理者</p>	<p>今のふじみ野市の取組は、非常に良いと感じています。ICT化を進めていく中で特に大切なのは、資料の調査問2と問6のポイントではないかと感じています。例えば、自分で調べる場面でどう活用するかという点や、自分たちの理解度や進度に合わせて適切に情報を提示してもらえる仕組みは非常に重要だと思います。一方で、問5に関する生徒同士のやり取りについては、対面で行うべき場面もあると思いますので、これが理想的な形ではないかと感じています。</p> <p>課題としては、中学校ごとの取組に格差があることが挙げられます。ICTを上手に活用している先生の取組を研修の形で共有し、教員のスキル向上を図ることで、それが結果的に子どもたちへの学びに良い影響を与えるのではないのでしょうか。また、特に特別支援学校の生徒にとっては、ICTを活用することで個別最適な学びという部分で非常に有効だと感じていますので、積極的に取り入れていってほしいと思います。</p>
<p>教育長</p>	<p>学校間の格差をどう埋めていくか、私は保護者にこのCBTの効果をきちんと理解してもらうことが大切かと思っています。教育委員会としては、CBT化を進めるにあたって子どもたちがどのくらい学びが深まったかということを実時間で保護者に見せられるようにしていきたいと思っています。そして、保護者に効果を理解いただき、学校に対してICT化をさらに促進できるよう後押しをしていただきたいと思います。</p>
<p>吉野委員</p>	<p>私の経験ですが、不登校の生徒に「すららドリル」をやっていたら、学力の向上に高い効果がありました。不登校の生徒に対してこの取組を進めていただければ良いかと思いました。また、夏休みに家庭でタブレットを活用するという説明がありましたが、壊れてしまった場合などの修理費用やランニングコストなどは大丈夫でしょうか。</p>
<p>G I G A スクール 推進主幹</p>	<p>第2期のタブレット購入にあたっては、第1期でわかった壊れやすいところなどが改善されたタブレットを購入しております。第1期のタブレットは非常に故障が多かったのですが、第2期に購入したタブレットについては、大きく故障が減っております。</p>
<p>教育長</p>	<p>従来のCBTでは選択問題が多く記述問題がなかったのですが、</p>

	生成AIが導入され、子どもが書いた文章がきちんと採点できるようになっています。採点時間が短縮されますので、教員の創造的な時間が生みだされ、教員独自の更なる学習探求を期待しています。
西山委員	予算面で、今後また随時タブレットを更新していかなければいけない中で、続けていけるのか心配なところがあります。何か先が見えるようなところがありましたらお伺いしたいです。
市長	教育や子どもたちにかかる予算は経費ではなく未来への投資だと思っています。
星野委員	GIGAスクール構想の取組は素晴らしいと思います。諸外国では結構タブレットに振り切って、今、学力が低下して今また元に戻しているようなところもあると聞いております。これからも、いろいろと検証しながら、教育を進めていきたいなと思いますので、よろしくお願いします。
市長	デジタル化やGIGAスクール構想そのものは素晴らしいことだと思いますが、やはり並行して、デジタルにないものを補えるような教育が大事だと思います。
茂井教育 長職務代 理者	採点に労力がかかると聞いていますが、この部分でうまくやれていけるようであれば、教員もゆとりができ、子どもたちと対面でできることも増えて業務の効率化も図れます。一人ひとりのスキルを上げていくことは大切かと思います。
市長	最大最適を目指して試行錯誤しながら新たな取組として進めていくことが大事だと思います。
	次第(2) その他 何かございますか。
星野委員	最近では、公立中学校の制服を市内で統一しようとする自治体が増えていると聞きます。統一することで、大量生産による制服の価格が多少安くなることや、リユースがしやすくなる、さらには郷土愛が高まるなどの効果が期待できると思います。本市でも制服の統一化について検討したことがあるのか、お伺いしたいです。
教育長	検討はしてきておりますが統一化にはメリットがある一方で、移

<p>茂井教育 長職務代 理者</p>	<p>行までの対応や販売ルートなど、様々な課題もございます。</p> <p>今は多様性に対応するべき時代となってきましたので、子どもたち一人ひとりの状況をしっかりと見て就学につなげたいという思いが強くなります。ただ、教育相談室があるものの対応できる件数には限りがあり、課題を抱える子どもたちも多い状況です。そのため、ぜひこちらの面にも力を入れていただければと考えております。</p>
<p>市長</p>	<p>教育の分野だけにとどまらず、令和8年度から発育・発達支援センターとこども家庭センターを連携させる仕組みを整えるため、組織の機構改革を進めました。加えて、教育委員会の相談室においても、しっかりと対応できる体制を整備していきたいと考えています。</p>
<p>市長</p>	<p>全ての議題について終了いたしましたので、進行につきましては事務局にお返しをいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>以上を持ちまして、令和7年度第1回総合教育会議を終了します。皆様ありがとうございました。</p>